

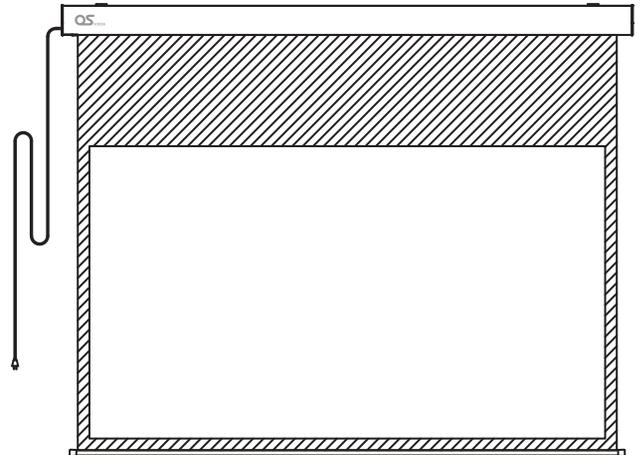
設置・取扱説明書

お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機の取り付けについて、工具をお持ちでないとき、コンクリートに設置するときは取付専門業者に設置を依頼してください。

- 取付専門業者につきましては、販売店および当社にお尋ねください。



Z3-080H-WF204

Z3-090H-WF204

Z3-100H-WF204

もくじ

安全上のご注意	2～3
仕様	4～5
付属品の確認	6
本機の構成と各部のなまえ	7
設置の前に	8
設置方法	9～16
取扱上のご注意	17
リモコン送信機の準備	18
リモコン送信機操作方法	19
自動停止位置の変更	20～26
FAQ（よくある質問）	27
お問い合わせ先	28

■ この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

安全のために、必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄は、障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

警告



設置作業は必ず二人以上の作業員で行う

本製品の転倒、破損、および搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性もあり大変危険です。



長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する

本機が落下し破損するだけでなく、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。



発煙・発熱・異臭・異音などの異常が発生した場合は、電源プラグを抜く

感電・ショート・火災の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。
● 使用を中止し、取扱店または当社までご相談ください。



電源ケーブルを引っ張らず、電源プラグを持って抜く

感電・ショート・火災の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

感電・発熱・ショート・火災の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。



電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

電源プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
● 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

警告



異物（金属片・水・液体）が本機の内部に入った場合は、使用を中止し、電源プラグを抜く

感電・ショート・火災の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。

● 使用を中止し、取扱店または当社までご相談ください。



長期間使用しないときは電源プラグを抜く

漏電により、火災の原因になることもあります。



乾電池の交換は2本とも新しい同種のものにする

古い乾電池を混ぜて使用すると発熱・液漏れ・破裂の原因になることがあります。



製品および部品の分解や修理・改造をしない

感電・ショート・火災の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。

● 修理は、取扱店または当社までご相談ください。



スクリーンにぶら下がったり、物を掛けたりしない

本機の破損の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。



雷が鳴ったら電源プラグに触れない

感電・ショート・火災の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。



濡れた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電・ショート・火災の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。



電源ケーブルや電源プラグを破損するようなことはしない

感電・ショート・火災の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。



設置作業が終了するまで、電源コンセントは差し込まない

感電の原因となり、死亡または重傷などを負う可能性があり大変危険です。



ストーブなど熱源の近くで使用しない

スクリーンは火気に弱いので、焼損や火災の原因となり大変危険です。



スクリーンを無理に引き出さない

本機の破損や落下の原因となり大変危険です。

注意



使用後は必ずスクリーンをケースに収納する

長時間引き出したままにすると、スクリーン生地品質低下の原因となります。



本機の動く範囲内に動きを妨げるものや、壊れやすいものを置かない

本機や置いたものが破損する原因になります。

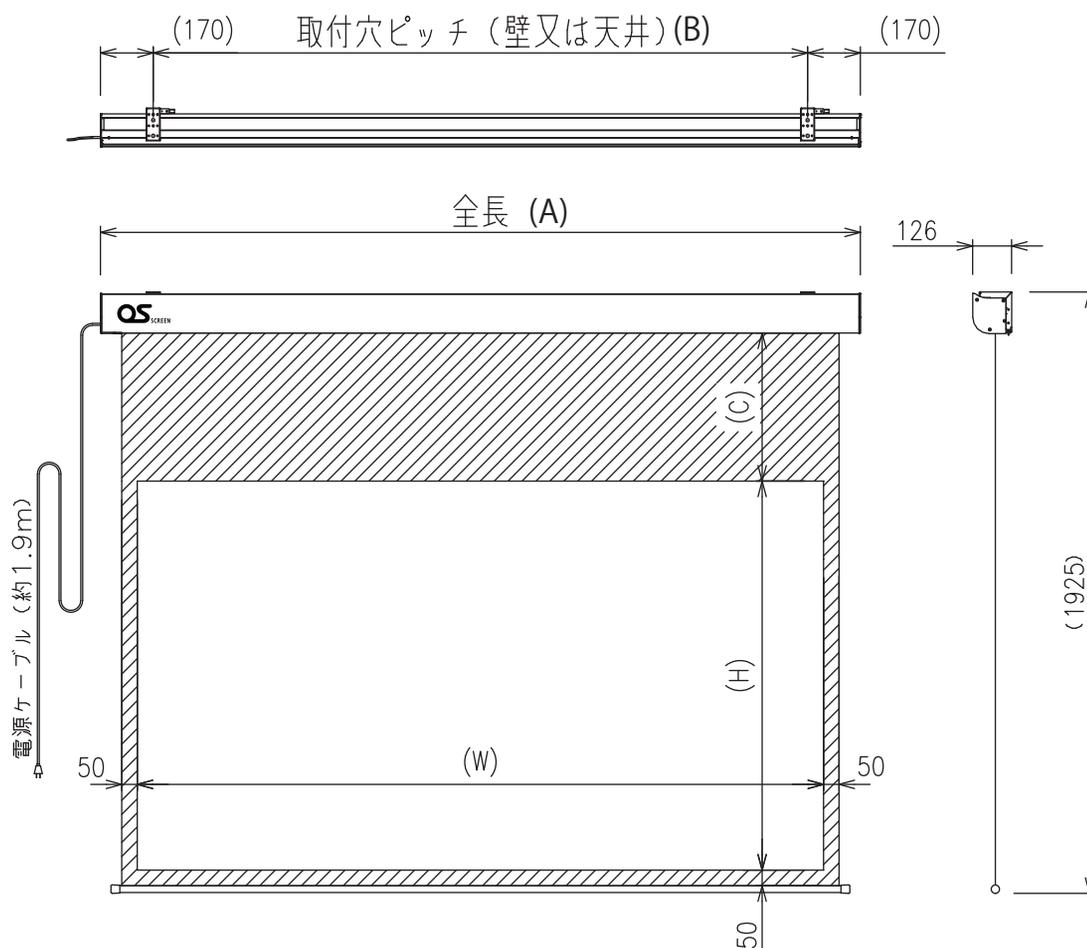


スクリーンに鋭利な刃物、尖った金属等を近づけない

映写効果を損なうだけでなく、破損の原因になります。

■ 取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷については当社は責任を負いません。

仕様

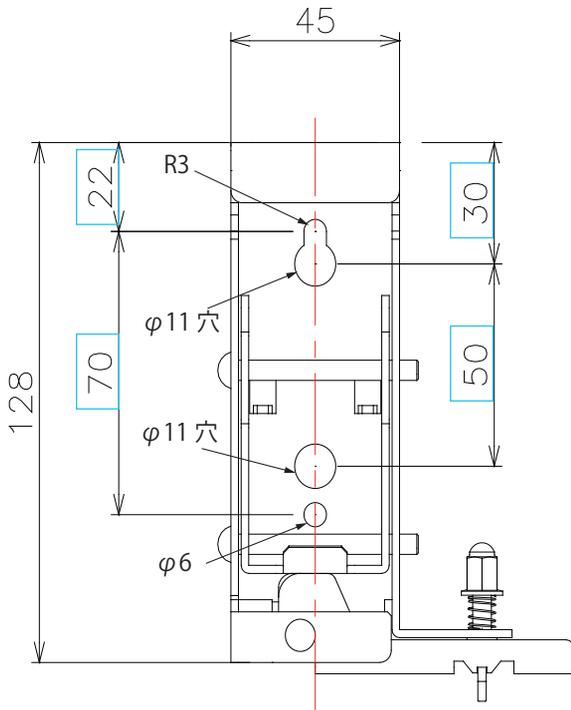


型式	イメージサイズ W×H (mm)	全長 A (mm)	取付穴ピッチ B (mm)	上黒 C (mm)	質量 (kg)	生地
Z3-080H	1171×996	2008	1668±100	723	10.0	WF204
Z3-090H	1992×1121	2229	1889±100	598	10.7	WF204
Z3-100H	2214×1245	2451	2111±100	474	11.5	WF204

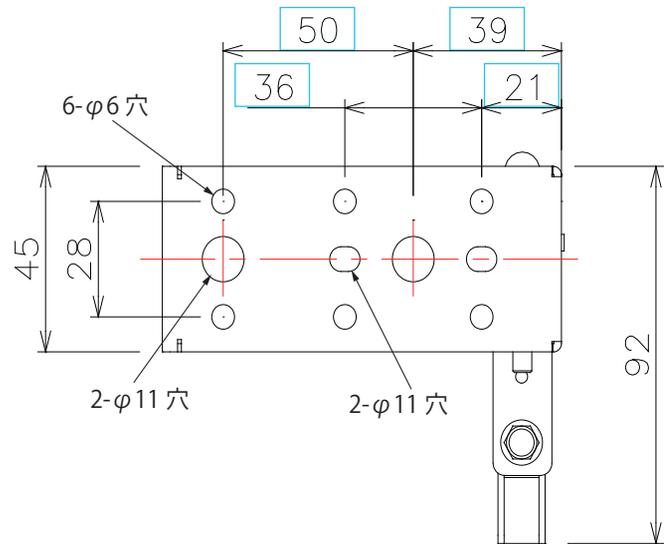
※ 仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

スライディングブラケット寸法図

取付用穴位置 (□印)

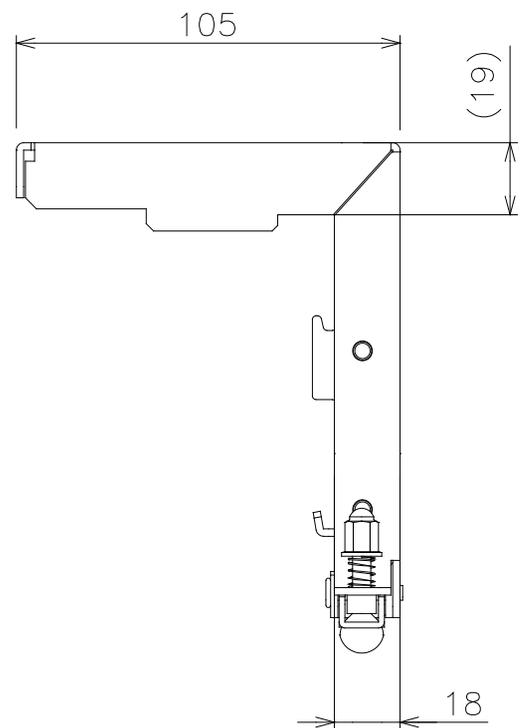
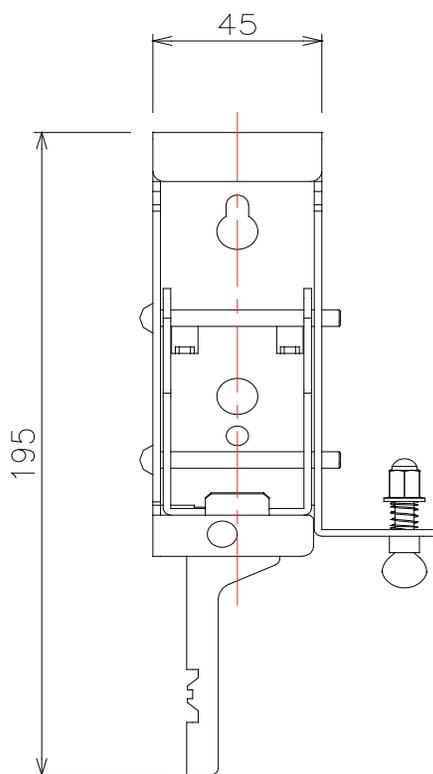


正面から見た図



天井側から見た図

スクリーン本体取付前状態

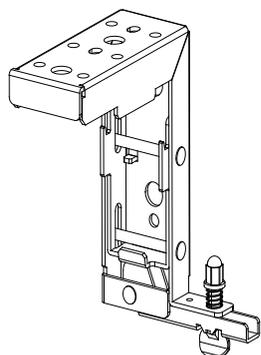


側面から見た図

付属品の確認

■ 設置・取り扱いの前に必ず確認してください。

付属品（壁埋込スイッチ）

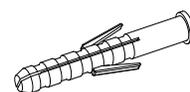


スライディングブラケット ×2

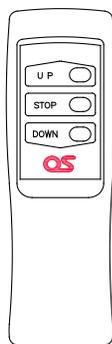
取付ねじセット



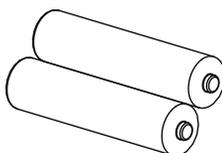
ねじ M5×25 ×8
(十字穴付トラスタッピンねじ)



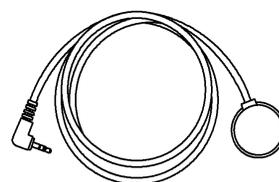
樹脂プラグ ×8



リモコン送信機 ×1



乾電池（単4形） ×2

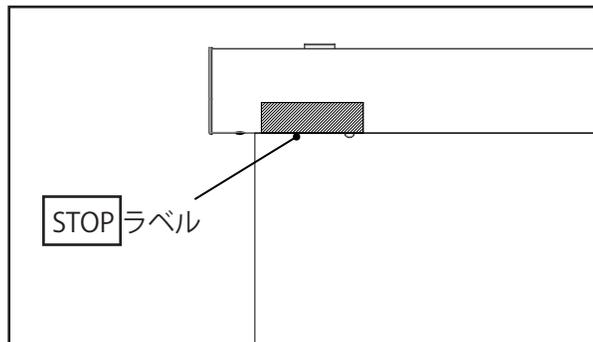


赤外線受光部 ×1



粘着パッド（予備） ×1

本機の構成と各部のなまえ



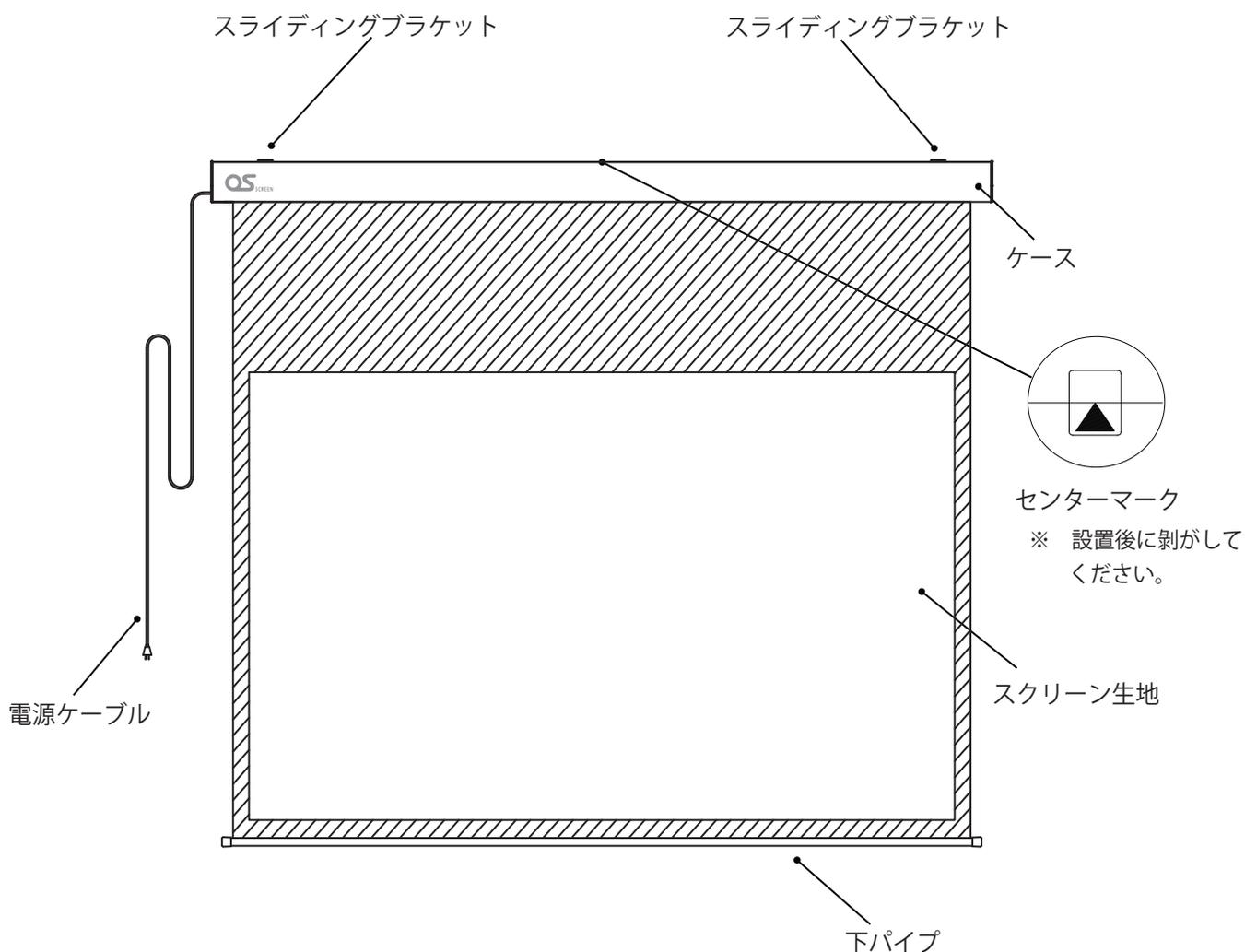
STOPラベルについてのお願い

- 平面性を十分に発揮するため、映写時はスクリーンをSTOPラベル位置まで出してご使用ください。
- スクリーン生地が脱落、または逆巻きをおこす原因になりますので、STOPラベル以上にはスクリーンを出さないようにしてください。

※ 下図の部品で構成されていますので、付属品と合わせて取付工事・取り扱いの前に確認してください。

スクリーン主要部分

付属の2つのブラケットを使用して壁または天井に固定してください。



設置の前に・・・設置上の留意点

- スクリーンの性能保障やトラブル防止のため、次の場所には取り付けないでください。
 - 振動や衝撃の加わるおそれのあるところ
 - 磁気、熱、水蒸気、油煙などの発生源の近く
 - 暖房機器の風が当たるところ
- 取付場所の構造や材質に合った方法で取付工事を行ってください。
- 取付工事中に製品や床に傷が付かないように柔らかい毛布や布を使い作業してください。
- ねじ止めするときは、締め付け不十分や締め付けすぎがないようにしてください。
- 取付工事の際は、周囲の安全確保と十分な注意をしてください。
- 製品は水平に取り付けてください。

設置方法

〔はじめに〕

部品は取付箇所、取付方向が決まっていますので、図および説明文をよく確認の上、設置してください。

本説明書（4 ページ）を基にスライディングブラケット取付穴位置を確認してから設置してください。

1. 取り付ける場所の確認

- 本製品は天井のほか、壁面への取り付けも可能です。
（ただし、天井・壁面の両方へ同時固定はしないでください。）
- 取付下地に十分強度があることを確認してください。
- 天井取り付けの野縁の位置につきましては、野縁探知機等を利用して下地位置の確認をしてください。

壁面への取り付けは取り付け位置に間柱等があることを確認してください。

※ 下地が発見できないときは、取付専門業者に施工依頼をしてください。

別途ご用意していただくもの

- プラスドライバー（#2）
- マイナスドライバー
- スパナ（17mm）
- ラジオペンチ 等



警告

- 本機の設置面は、仕様に記載しているスクリーン質量を長期間支える強度が必要です。石こうやパーティクルボード面に設置する場合、補強が必要となります。設置面の強度が不足していると本機が脱落する原因になります。
- 本機を木下地に設置する場合は、下地の厚みが 20mm 以上必要です。下地の厚み不足、ねじの締め付けが不十分ですと本機が脱落する原因になります。

2. スライディングブラケットの取り付け



警告

- 取付部分の下地の仕様、製品および製品積載物の重量により取付方法が異なります。製品を取り付けの際には適正な支持強度が十分保てる方法で施工してください。
- 支持強度が不足の場合、落下する恐れがあります。

■ 取り付け穴の説明（天井・壁面への設置例）

- 最初にスクリーン本体取付位置を決め、それに合わせてスライディングブラケットを設置面に取り付けます。（4ページの取付穴ピッチ、5ページのスライディングブラケット寸法図を参照）
コンクリート壁などに設置する場合は、壁面にアンカーボルトを打ち、ナットで固定します。
必ず投影面の高さや投影面までの距離、中心位置を確認してください。
スクリーンが水平となるよう、スライディングブラケットの取り付け位置は正確に測定し、マーキングを行ってから施工してください。

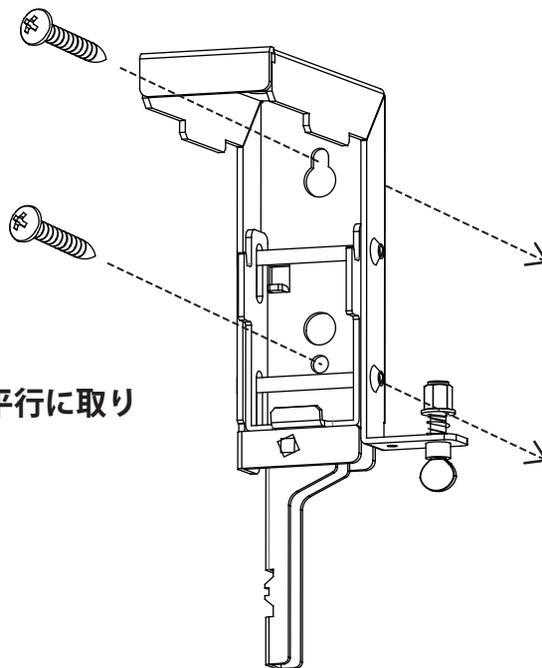
壁取り付けの場合

● 直接壁に取り付ける場合・・・φ6穴を使用

付属ねじ（十字穴付きトラスタッピン 5×25）にて野縁等支持強度が確保できるところに取り付ける。

左右のスライディングブラケットは、同一平面に平行に取り付けてください。

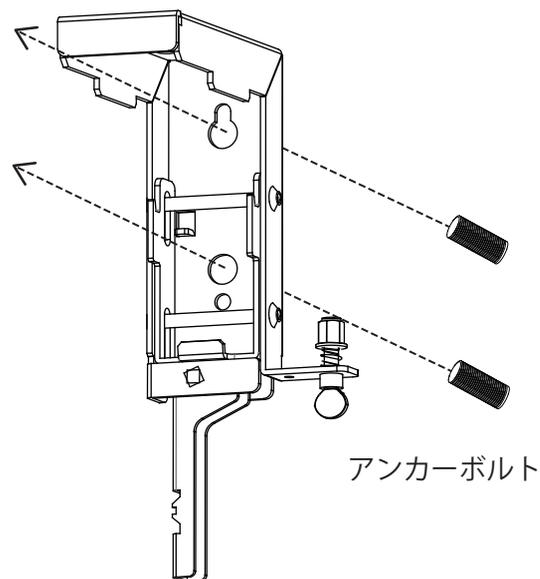
※ 平行でないと、カムレバーの操作が重くなります。



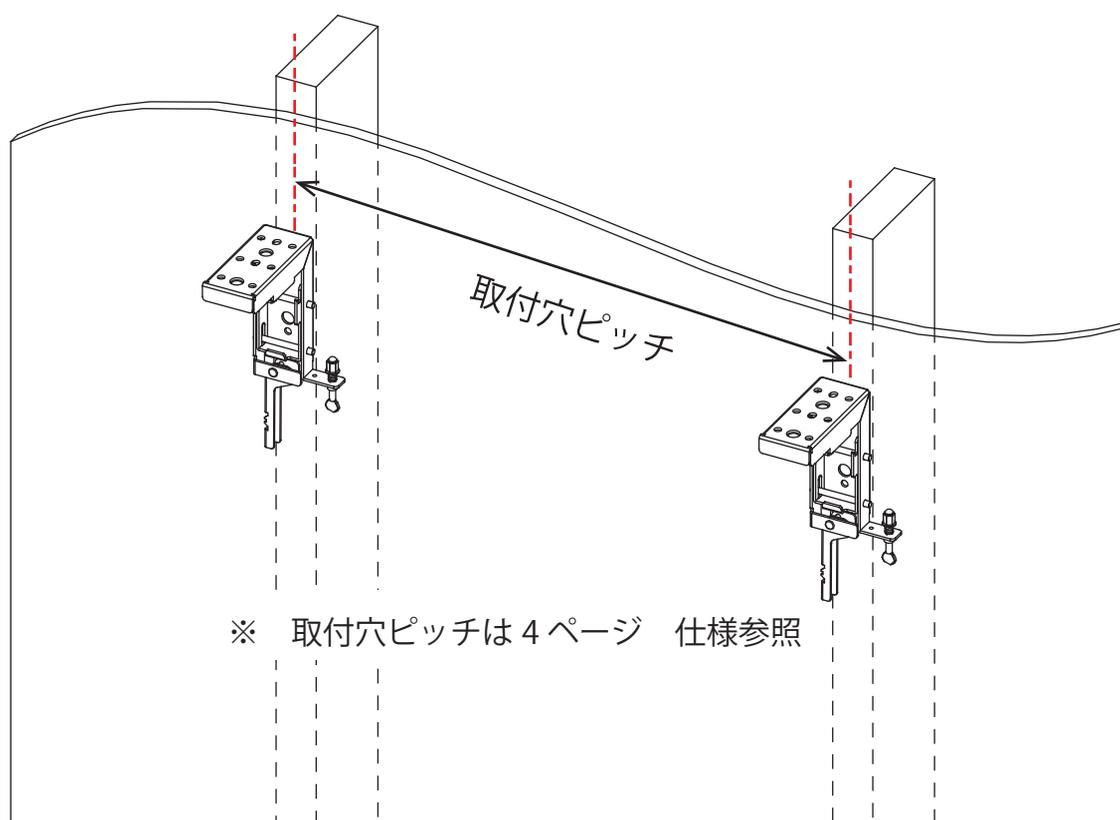
- アンカーボルトを使用して壁に取り付ける場合・・・φ11穴を使用
 スクリーン本体取り付け位置に合わせて、アンカーボルト（M10）を壁に取り付ける。
 （ブラケット寸法図参照 5 ページ）

左右のスライディングブラケットは、同一平面に平行に取り付けてください。

- ※ 平行でないと、カムレバーの操作が重くなります。
- ※ スライディングブラケットの固定に必要なアンカーボルト、ナット等をご準備ください。

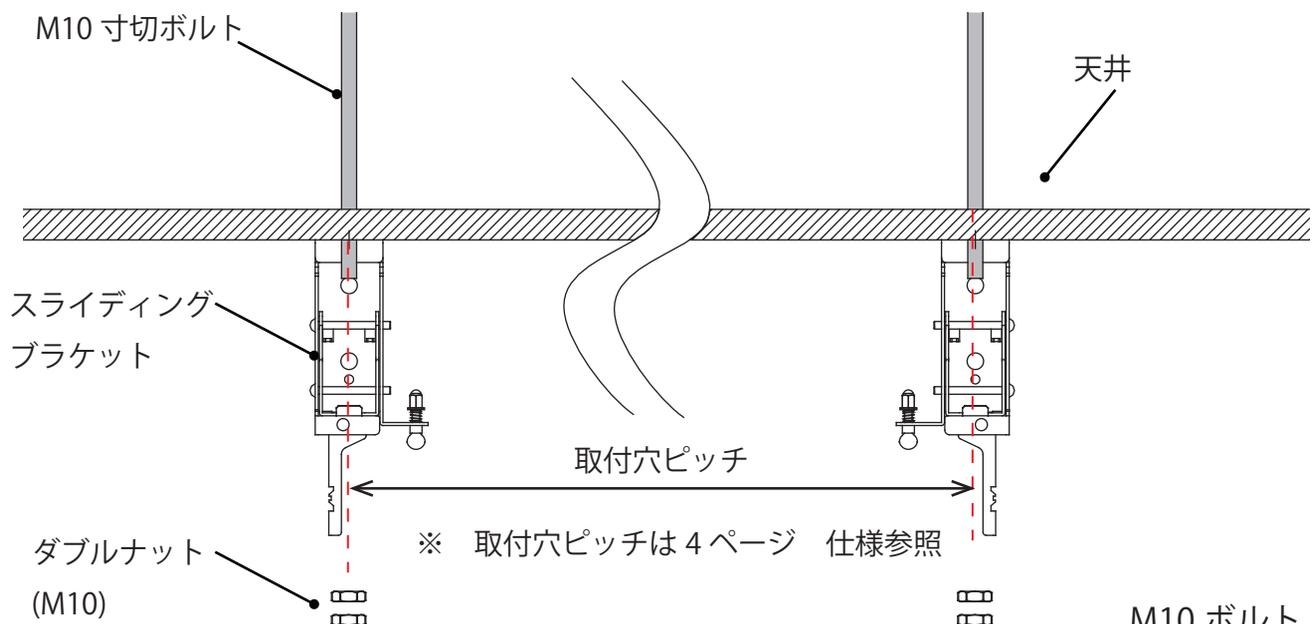


壁面取付例



天井取り付けの場合

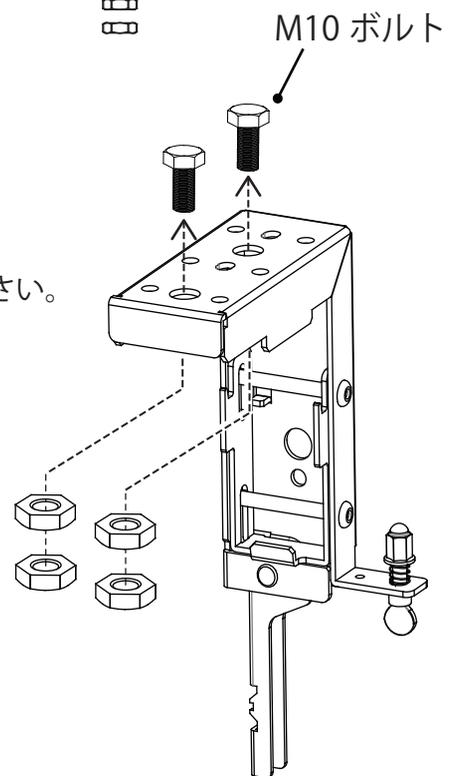
- 弊社アルミボックスや吊ボルトを使用する場合・・・φ11 穴を使用
ダブルナットでしっかりと吊ボルトに固定する



弊社アルミボックスに取付ける場合は M10 ボルトをご使用ください。

左右のスライディングブラケットは、同一平面に平行に取り付けてください。

※ 平行でないと、カムレバーの操作が重くなります。

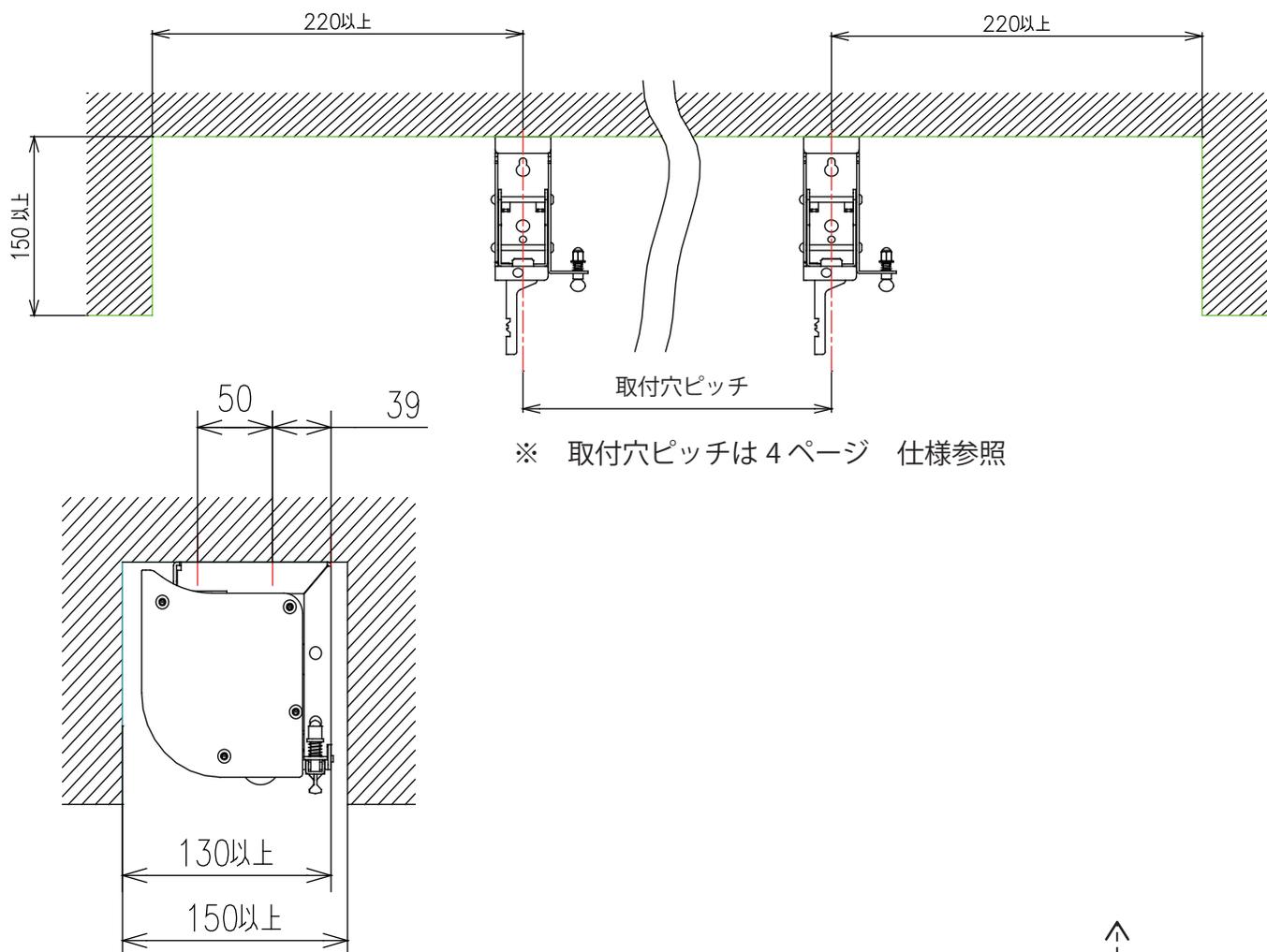


■ 弊社アルミボックス対応表

型式	適用アルミボックス
Z3-080H	AL-220X
Z3-090H	AL-240X
Z3-100H	AL-260X

● 天井に設けた凹部に取り付ける場合・・・φ6 穴を使用

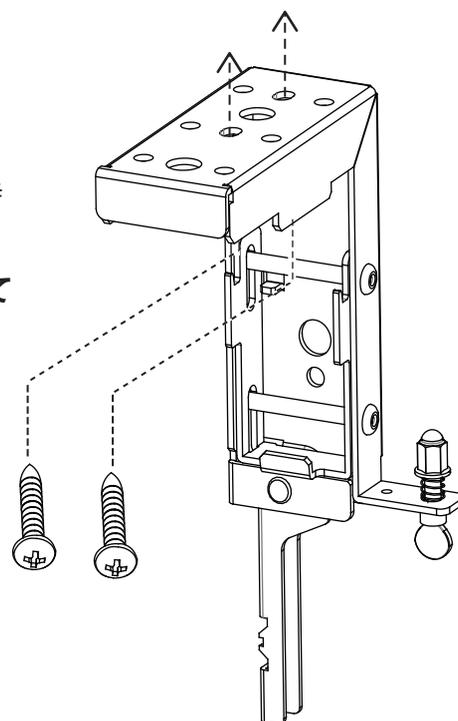
天井に設けた凹部は、下図の寸法を参考に作成してください。



付属ねじ（十字穴付きトラスタッピン 5×25）にて野縁等、支持強度が確保できるところに取り付ける。

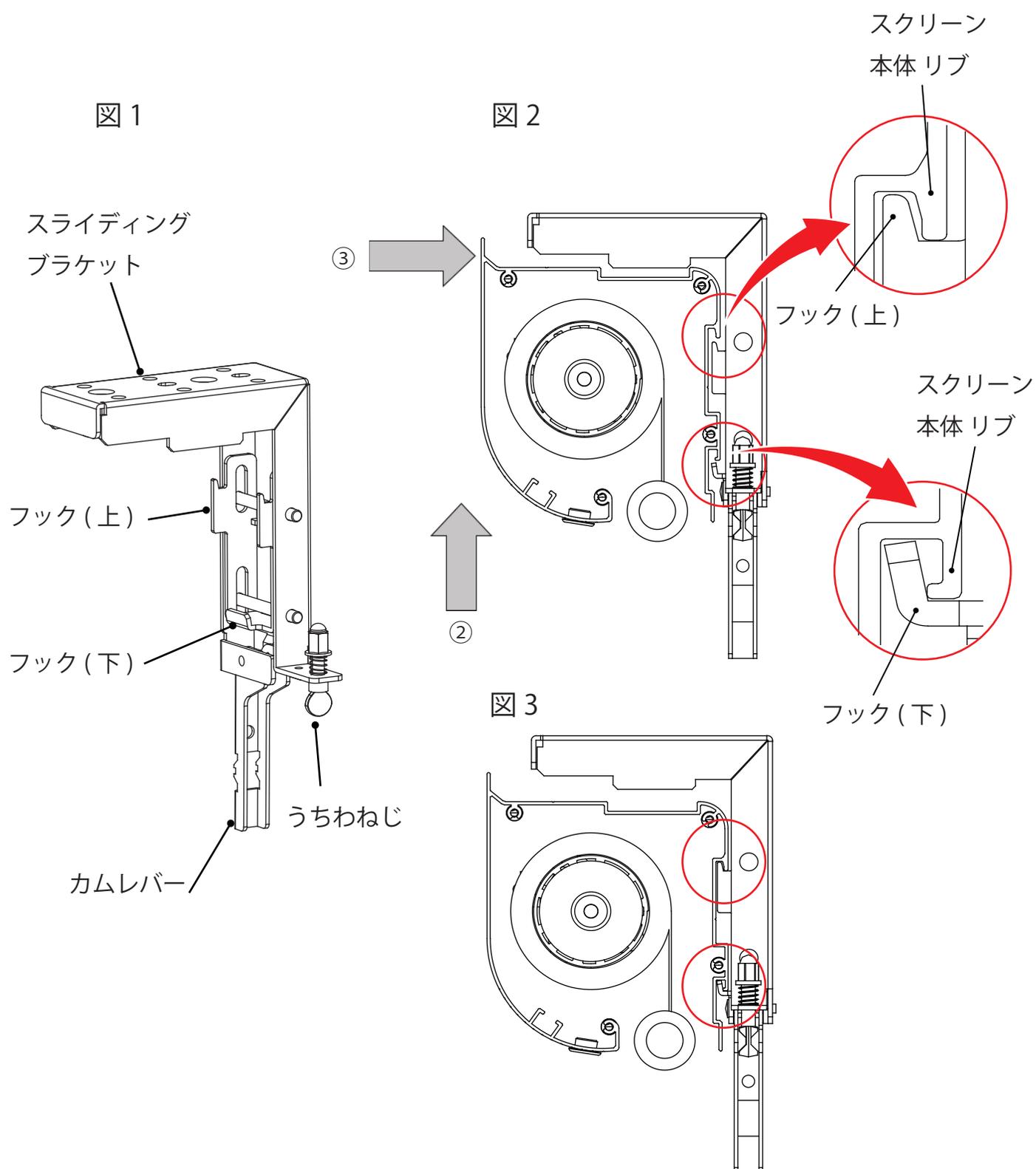
左右のスライディングブラケットは、同一平面に平行に取り付けてください。

※ 平行でないと、カムレバーの操作が重くなります。



3. スクリーン本体をスライディングブラケットに取り付ける

- ① 図1のように、うちわねじを図示の位置に回しカムレバーを下に垂らす。
このときフックが下まで落ち切っていること。
- ② 図2のように、スクリーン本体を少し斜めにして上に押し上げ、次にスライディングブラケットの方に横に移動させる。
- ③ スクリーン本体を水平にしながら、スクリーン本体リブをフック（上下2か所）に図3の丸印のように入れる。



- ④ 図4のようにカムレバーを反時計方向に回転させ、スクリーン本体を上に移動させて固定する。
- ⑤ スクリーン本体リブがフック（上下2か所）に図5の丸印箇所のように入っていることを必ず確認する。
- ⑥ 図6のようにうちわねじの取っ手部を90°回転させ、カムレバーの溝部に入れて必ずカムレバーをロックする。

図4

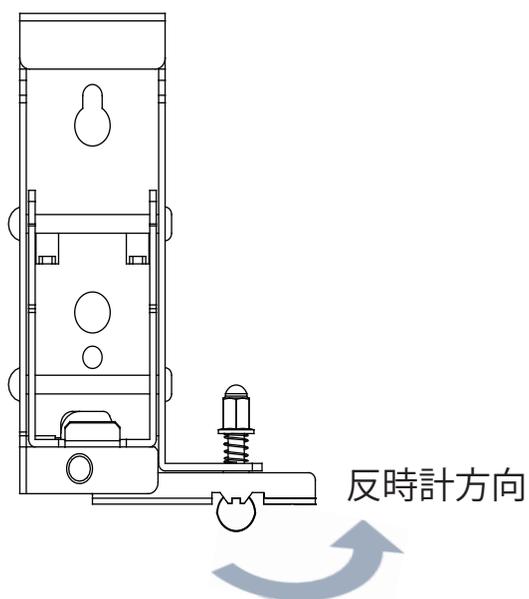


図5

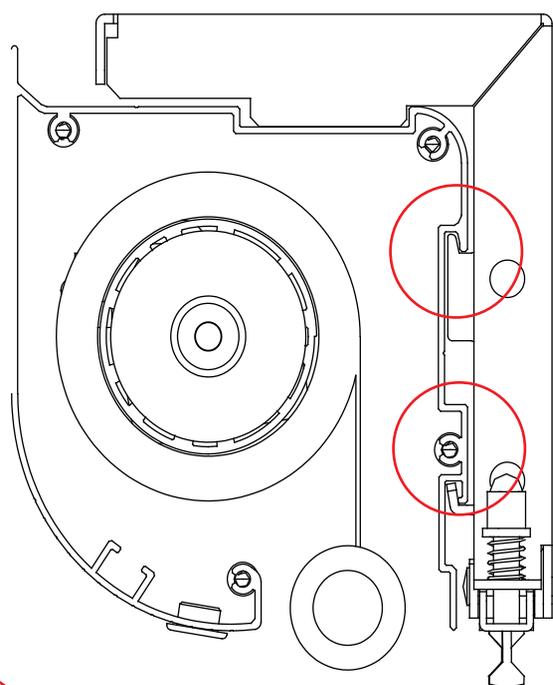
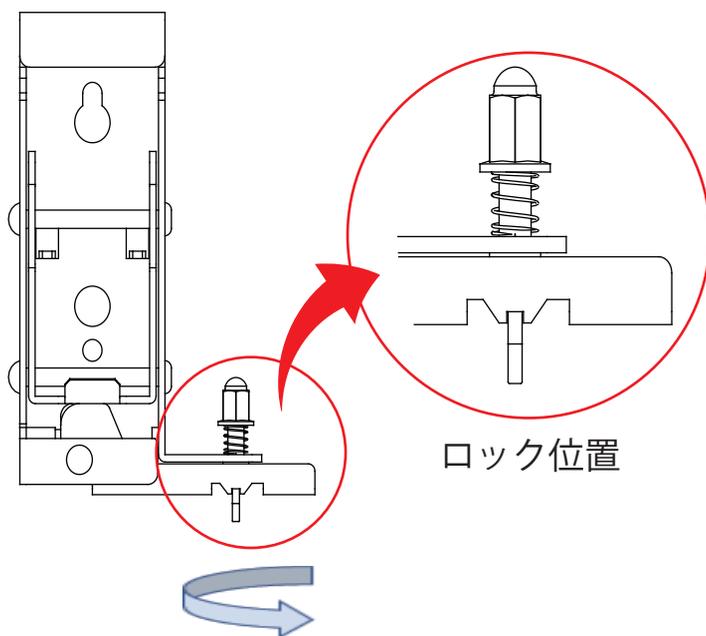


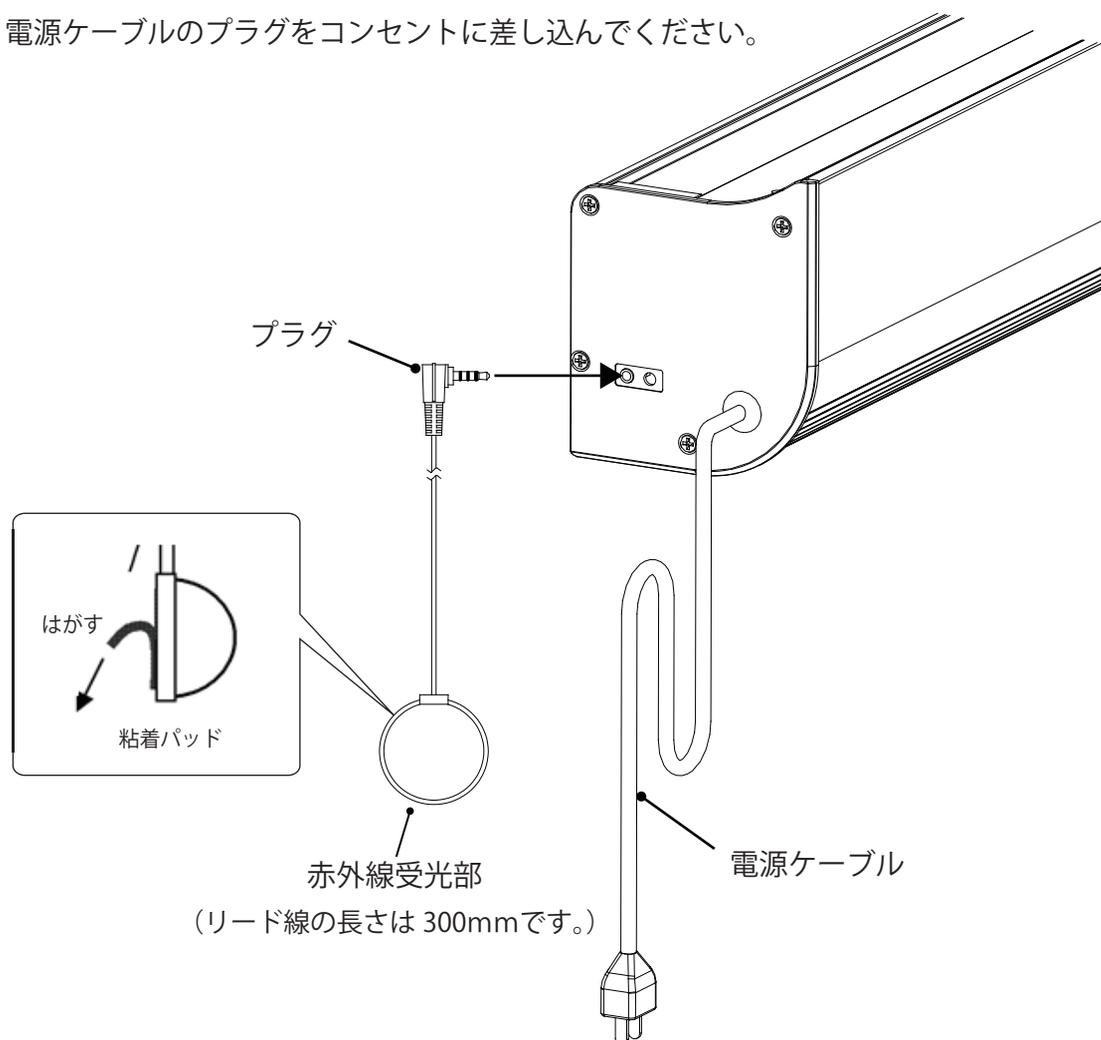
図6



うちわねじがつまみにくい場合はラジオペンチ等でつまんで回しロック位置に合わせてください。

4. 赤外線受光部を取り付ける

- ① 赤外線受光部のプラグを、本体左側にある赤外線受光部差込口に接続します。
- ② 貼付場所のゴミや汚れ・水・油・湿気等を拭き取り、赤外線受光部裏面の粘着パッドの剥離紙をはがして、リモコン送信機の信号が直接当たる場所（リード線範囲内）に確実に貼り付けます。（ただし、直接日光の当たらない場所に設置してください。）
- ③ 電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込んでください。



知っておいていただきたいこと

- 直接日光等により受信感が悪い場合には、赤外線受光部の取付位置を変更してください。
- 場所によっては貼り付けができない場合があります。
- パッドの粘着力がなくなった場合は付属の粘着パッドをお使いください。



注意

- 必ず赤外線受光部の取り付けが完了してから電源ケーブルのプラグを接続してください。電源を入れた状態で赤外線受光部を取り付けますと故障の原因となります。



警告

- 赤外線受光部は必ず根元まで差し込んでください。差し込みが不完全ですと破損の原因になります。
- 電源プラグは必ず根元まで差し込んでください。差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。

取扱上のご注意

この製品は映写効果を上げるため、スクリーン表面に特殊な加工が施されています。汚れや傷が付きますと映写効果を損なうことがありますので、次の点にご注意の上、丁寧にお取り扱いください。

- スクリーン表面には手を触れないでください。
- スクリーン表面に文字や絵を描いたりしないでください。
- 固い物でスクリーンを擦ったり、引っ掻いたり、叩いたりしないでください。
- 表面のほこりは、乾いた柔らかい布で軽く拭くか、柔らかいブラシで払ってください。



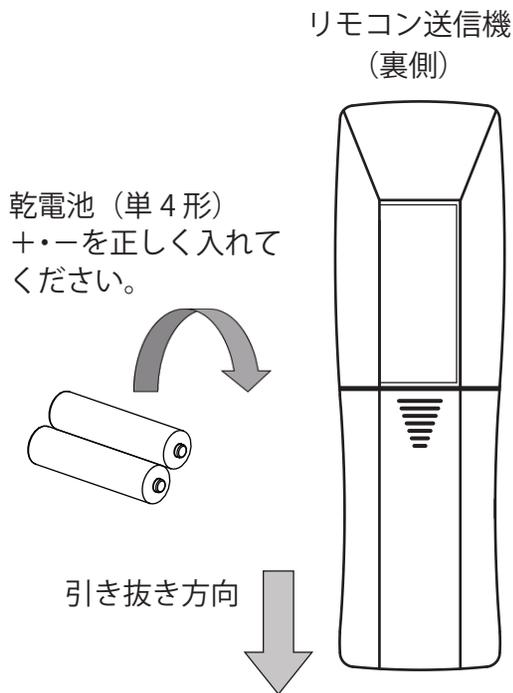
スクリーン表面は、水で湿らせた布やベンジン、シンナー等の薬品類は使用しないでください。映写効果を損なう原因になります。

スクリーンを昇降させるときは、次の点にご注意ください。

- 昇降中、逆動作をさせるときは、**STOP** ボタンを押し、一旦停止させてから行ってください。
- スクリーンの昇降を続けて行くと、モーターの過熱防止装置が働いて停止します。この場合は、冷却のため、しばらく（10~20分）放置してから操作してください。（※ 故障ではありません。）

リモコン送信機の準備

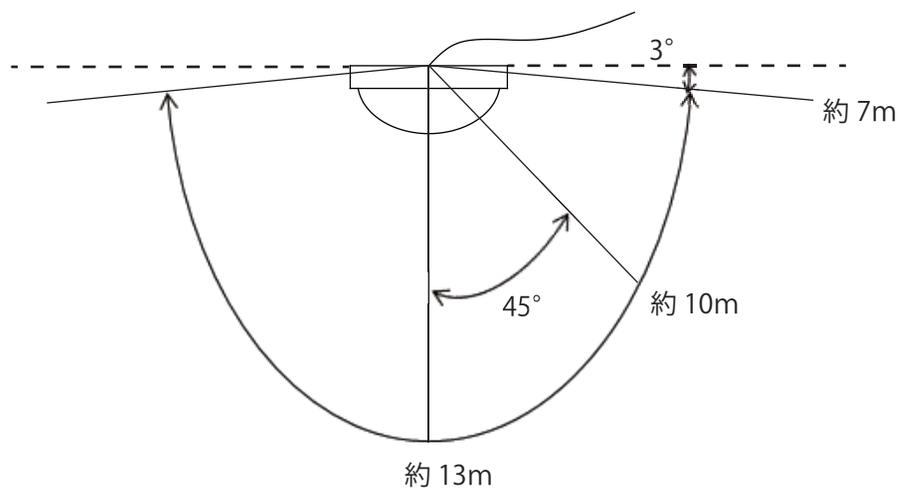
リモコン送信機の裏ボタンを引き抜き、乾電池（単4形）2本を入れてください。



乾電池についてのお願い

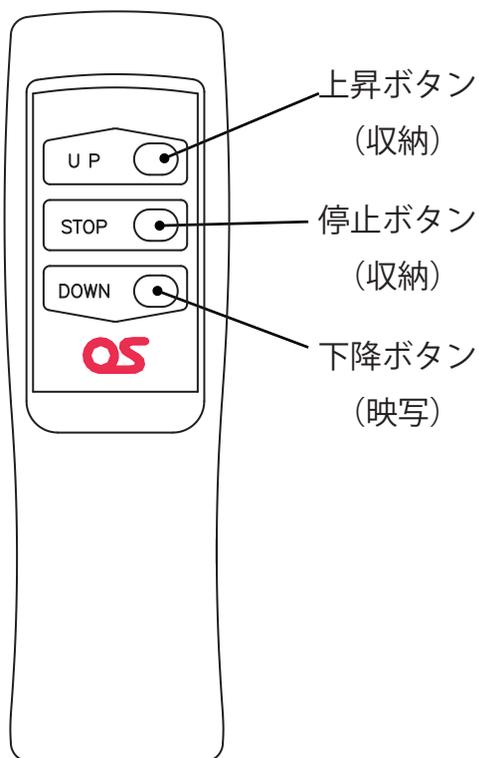
- 信号が届きにくくなった場合は、2本とも新しい乾電池と交換してください。
- 液漏れによる故障を避けるために、長時間ご使用にならないときは乾電池を全部取り出してください。
- 充電式乾電池は使用しないでください。

リモコンの作動範囲 赤外線受光部



※ 周辺環境により、リモコン作動範囲が短くなる場合があります

リモコン送信機操作方法



1. スクリーンを使用するとき

リモコンの **DOWN** ボタンを押してください。

スクリーンが所定の映写位置まで引き出されて自動的に止まります。

※ 初期設定では STOP ラベルの位置で止まります。(P7 参照)

2. スクリーンを収納するとき

リモコンの **UP** ボタンを押してください。

スクリーン収納されて自動的に止まります。

3. スクリーンを途中で止めるとき

リモコンの **STOP** ボタンを押してください。

動作中のスクリーンはその位置で止まります。

リモコン送信機についてのお願い

- リモコン送信機は大切に扱ってください。
落としたり投げたり水等がかかったりしますと故障の原因となります。
- 赤外線受光部に向けて捜査してください。



- 室温が低い場合や、電源ケーブル接続後の初回動作時などスクリーン昇降速度が遅くなる場合があります。
- スクリーンの昇降を続けて行くと、モーターの加熱防止装置が働いて停止します。この場合は、冷却のため、しばらく放置してから (10 ~ 20 分) 操作してください。
※ 故障ではありません。

自動停止位置の変更

※ 設定変更の前に必ずお読みください。

スクリーンの自動停止位置は工場出荷時に標準の位置に設定済みですが、停止位置の変更が必要な場合は、以下の点にご注意の上、設定方法に添って正しく設定してください。

※ スクリーン収納位置はやむを得ない場合を除き変更しないようにしてください。

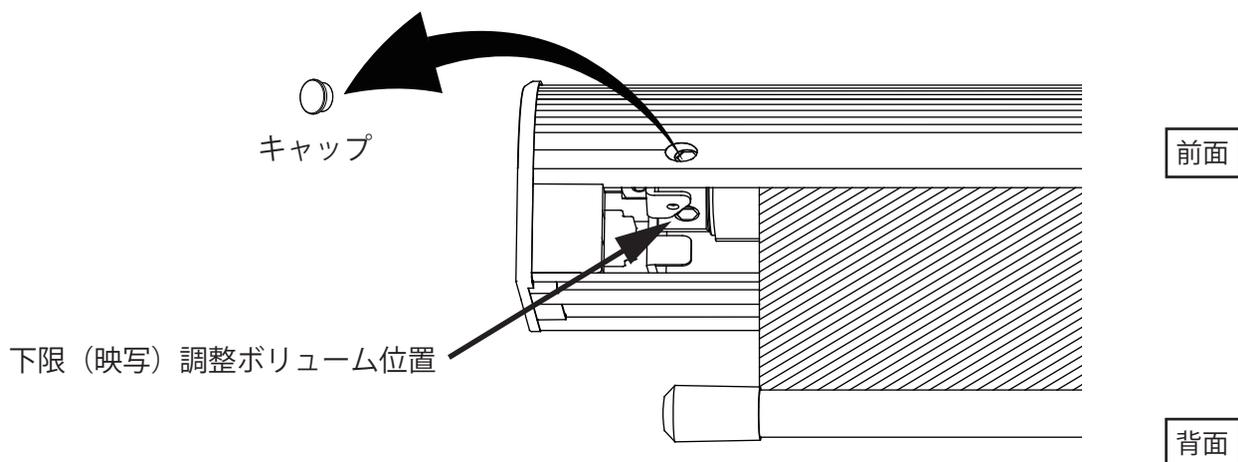
注意

- スクリーンの収納位置は工場出荷設定値より更に上方向には設定しないでください。スクリーンの下パイプがケースに食い込んだりスクリーン生地シワや破損、モーターの故障の原因となります。
- 下限位置を工場出荷設定位置より更に下方向に設定しないでください。スクリーンの生地が脱落したり、スクリーン生地が逆巻きしてシワが発生する原因となります。

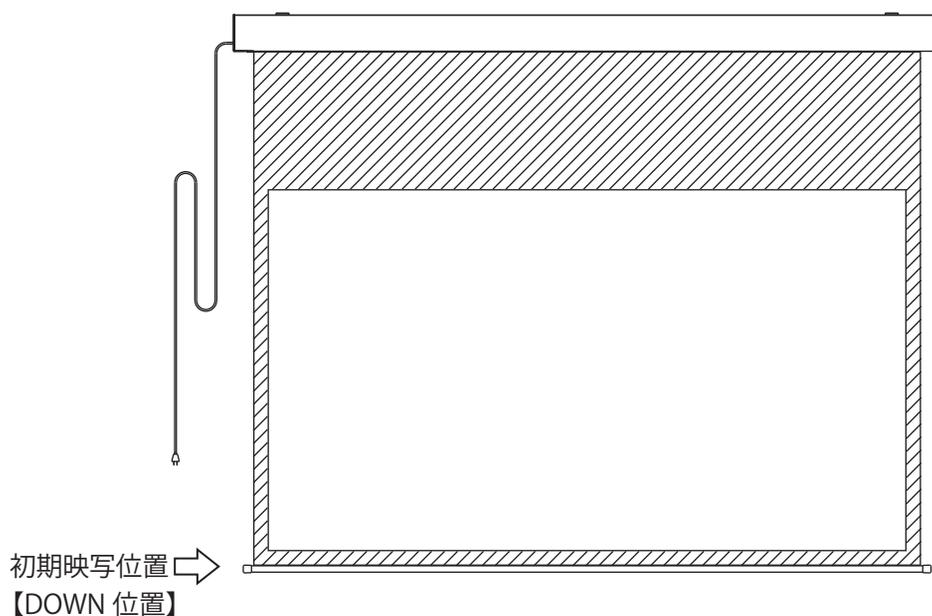
【DOWN 位置】（映写位置）は工場出荷時に最大下限位置として設定済みなので、【DOWN 位置】より上方向に設定してください。

■ 自動映写位置【DOWN】を変更する場合 ※ 初期映写位置より上方向に設定します。

1. ケース左側底面にあるリミット調整穴の白いキャップを取り外します。
調整箇所を確認してください。

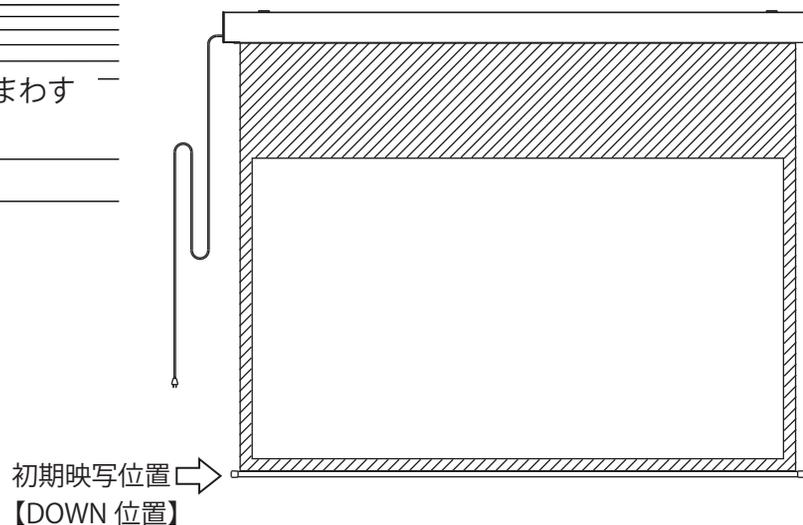
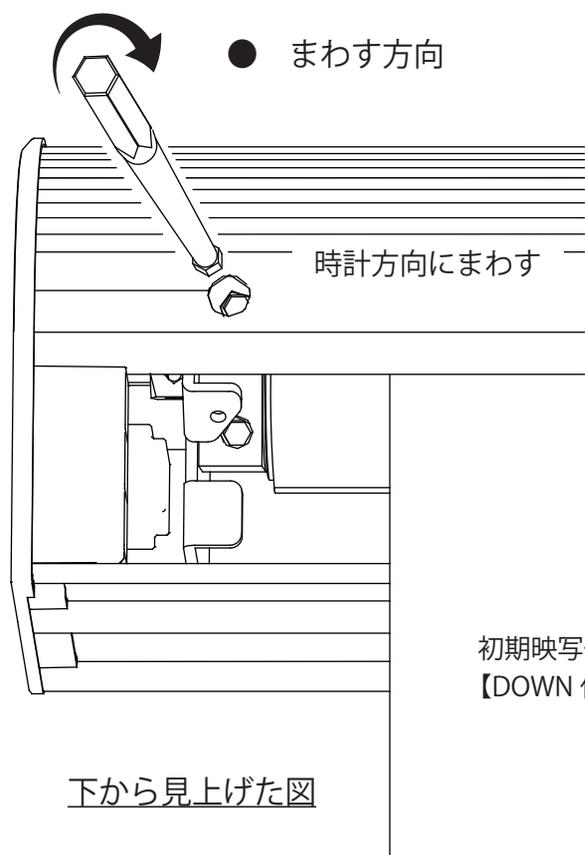


リモコンの DOWN ボタンを押して自動で止まる位置まで引き出してから調整を始めて下さい。



※ 初期映写位置より下に設定することはできません。

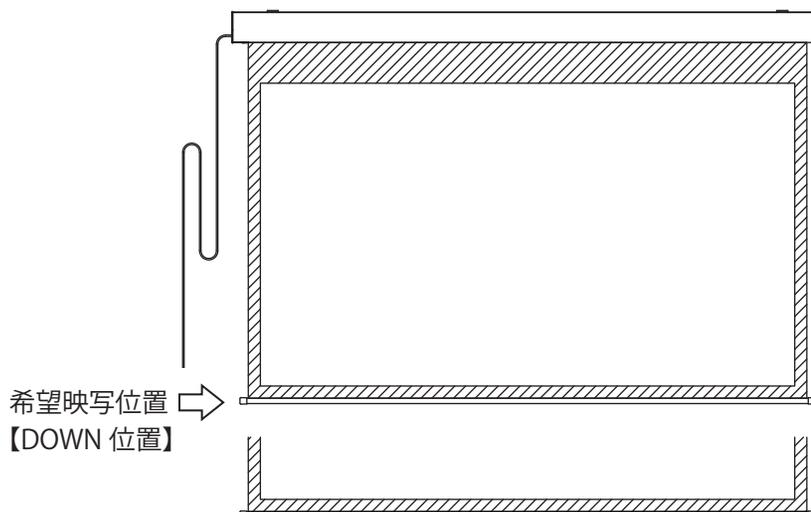
2. リミット調整穴から付属の六角レンチを差し込み、調整ボリューム(下限位置)を **時計回り** に回してください。スクリーンを上げすぎないように、少しずつ調整をしてください。



1回転で約 25mm 収納位置が下がる設定になります。
【参考】 1/2 回転で約 12.5mm

※ 調整後の位置を確認するまで、回した回数は必ず覚えておいてください。

3. 調整ボリュームを回した後に、リモコン送信機の UP ボタンを押します。
スクリーンを 20 ~ 30cm 程巻き取らせたところで、STOP ボタンを押します。
4. DOWN ボタンを押します。希望の映写位置に停止するか確認をしてください。



5. 希望の位置に停止するのが確認できたら調整穴にキャップを取り付けます。

■ 収納位置が下がりすぎた場合

収納位置を下げすぎた場合は、下記の手順にそって、正しく調整をしてください。

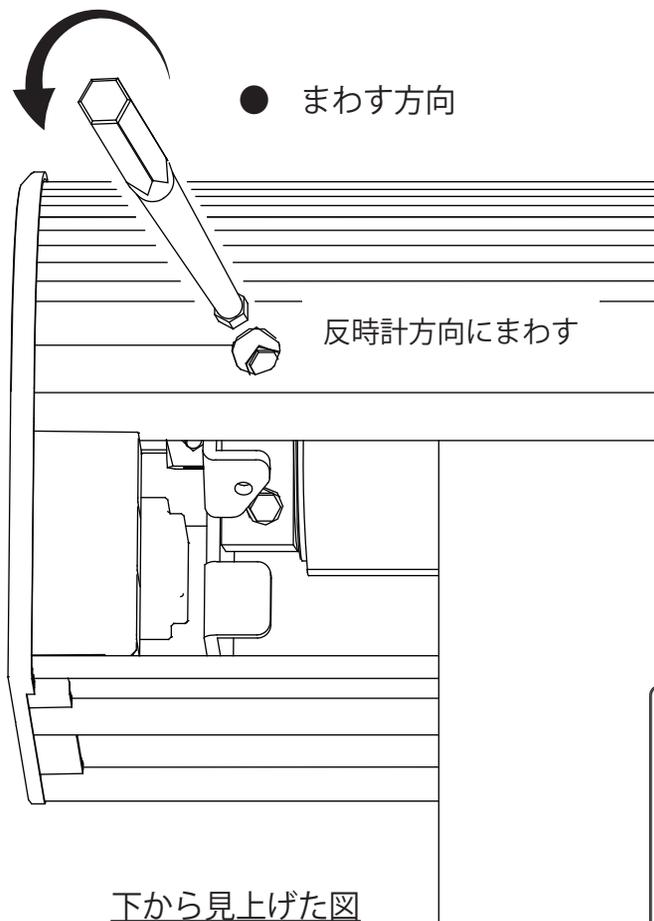
1. スクリーンが引き出されている状態で、21 ページと同じ調整箇所に付属の六角レンチを差し込みます。
2. 調整ボリューム（下限位置）を **反時計回り** に回してください。
上げすぎないように少しずつ調整してください。



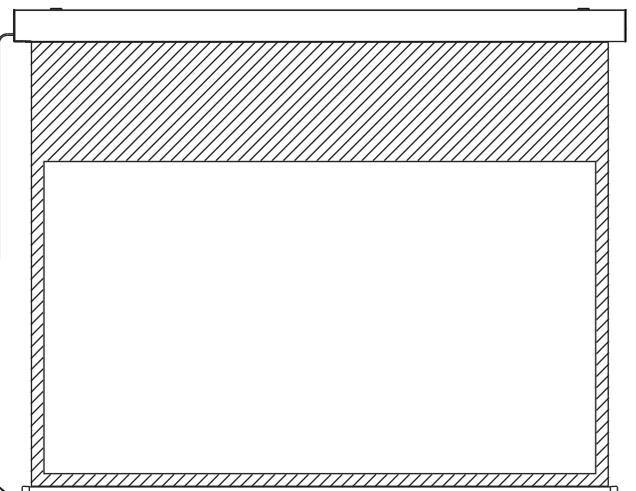
調整ボリューム（下限位置）を **反時計回りに回しすぎないようにご注意ください**。

スクリーン生地が脱落したり、逆巻きしてシワの原因になります。

STOP ラベル以上はスクリーン生地を引き出さないでください。



初期映写位置 →
【DOWN 位置】

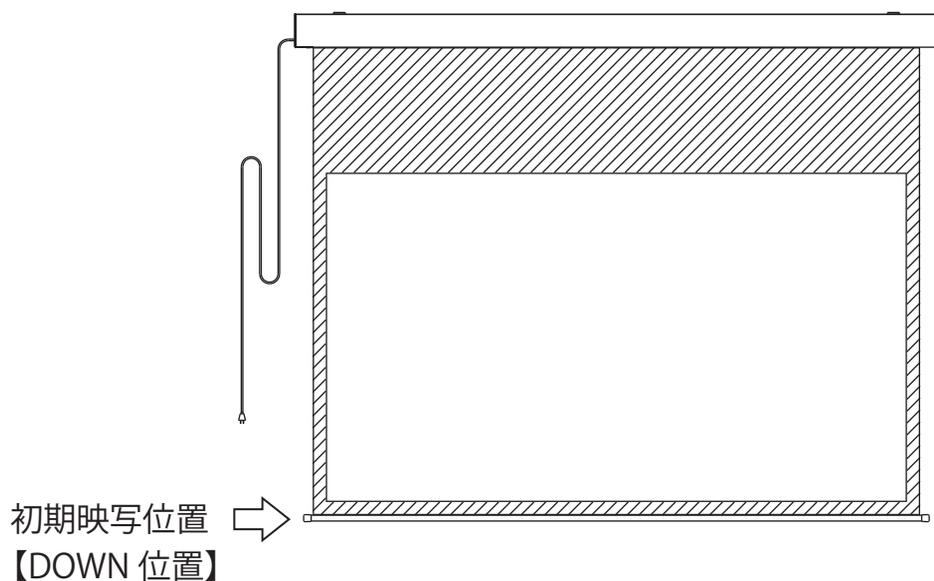


1 回転で約 25mm 収納位置が下がる設定になります。

【参考】 1/2 回転で約 12.5mm

※ 調整後の位置を確認するまで、回した回数は必ず覚えておいてください。

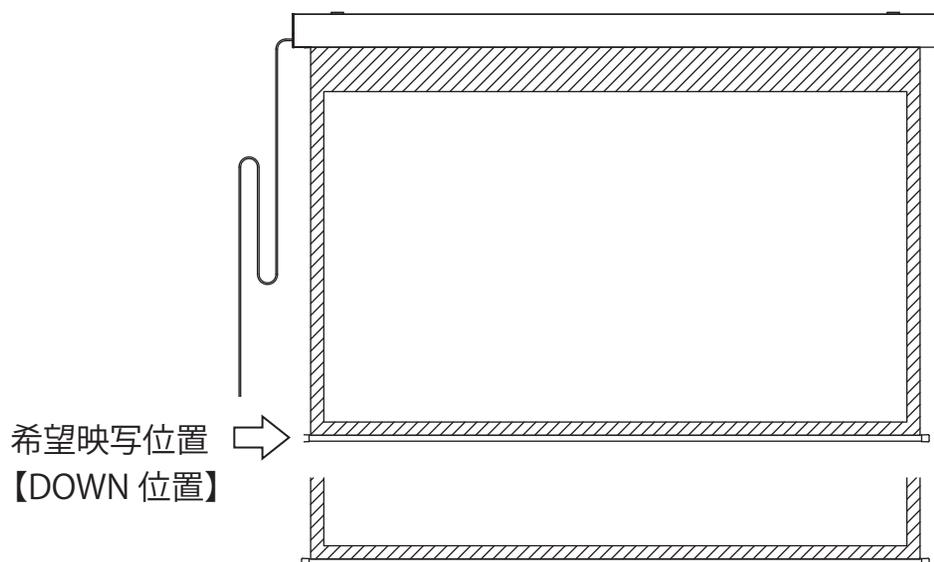
- 調整ボリュームを回した後に、リモコン送信機の **UP** ボタンを押します。
スクリーンを 20 ～ 30cm 程巻き取らせたところで、**STOP** ボタンを押します。
- DOWN** ボタンを押します。希望の映写位置に停止するか確認をしてください。
- 希望の位置に停止するのが確認できましたら調整穴にキャップを取り付けます。



1 回転で約 25mm 収納位置が下がる設定になります。

【参考】 1/2 回転で約 12.5mm

※ 調整後の位置を確認するまで、回した回数は必ず覚えておいてください。

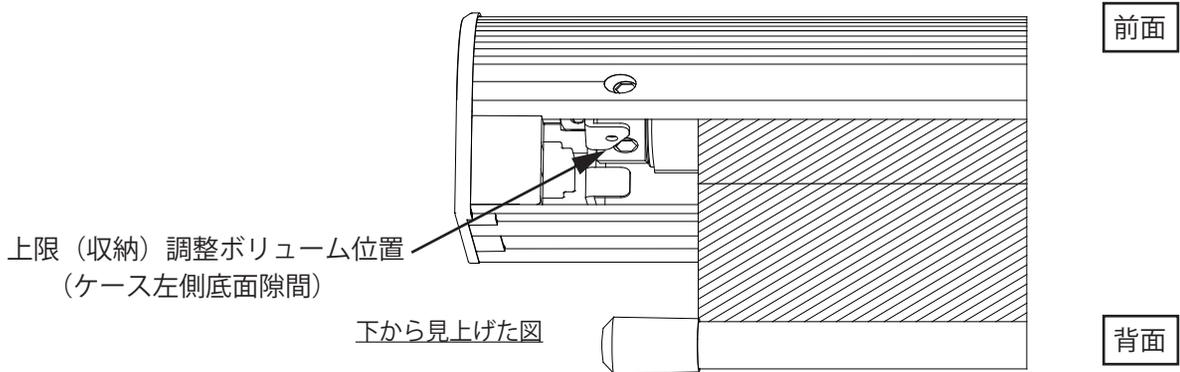


■ **自動収納位置【UP】を変更する場合** ※ 初期収納位置より下方向に設定します。

【UP 位置】（収納位置）は工場出荷時に最大上限位置として設定済みですので、基本的に再設定の必要はありません。 **⚠ 収納位置はやむを得ない場合を除き変更しないようにしてください。**

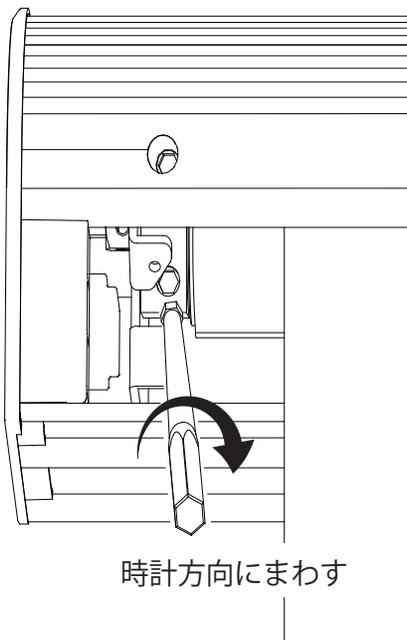
1. ケース左側底面のケース隙間より調整箇所の確認をしてください。

※ このとき、あらかじめスクリーンを約 20cm 程引き出しておくと、調整がスムーズに行えます。

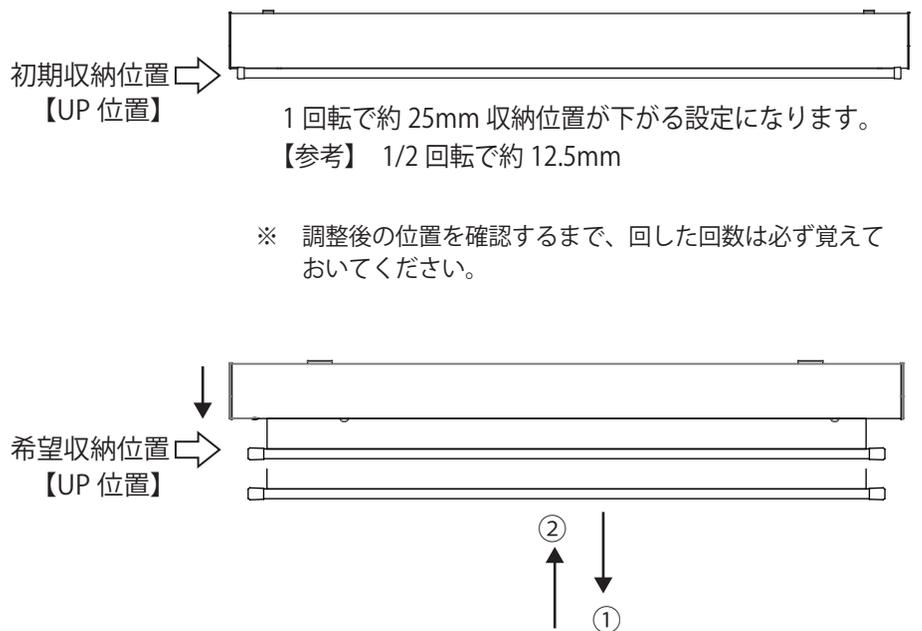


2. ケース隙間から付属の六角レンチを差し込み、調整ボリューム（上限位置）を **時計回り** に回してください。下げすぎないように、少しずつ調整してください。

● まわす方向



下から見上げた図



1 回転で約 25mm 収納位置が下がる設定になります。
【参考】 1/2 回転で約 12.5mm

※ 調整後の位置を確認するまで、回した回数は必ず覚えておいてください。

① 調整ボリュームを回した後に、リモコン送信機の **DOWN** ボタンを押します。
スクリーンを 20 ~ 30cm 程引き出したところで、**STOP** ボタンを押します。

② **UP** ボタンを押します。
希望の収納位置に停止するか確認をしてください。

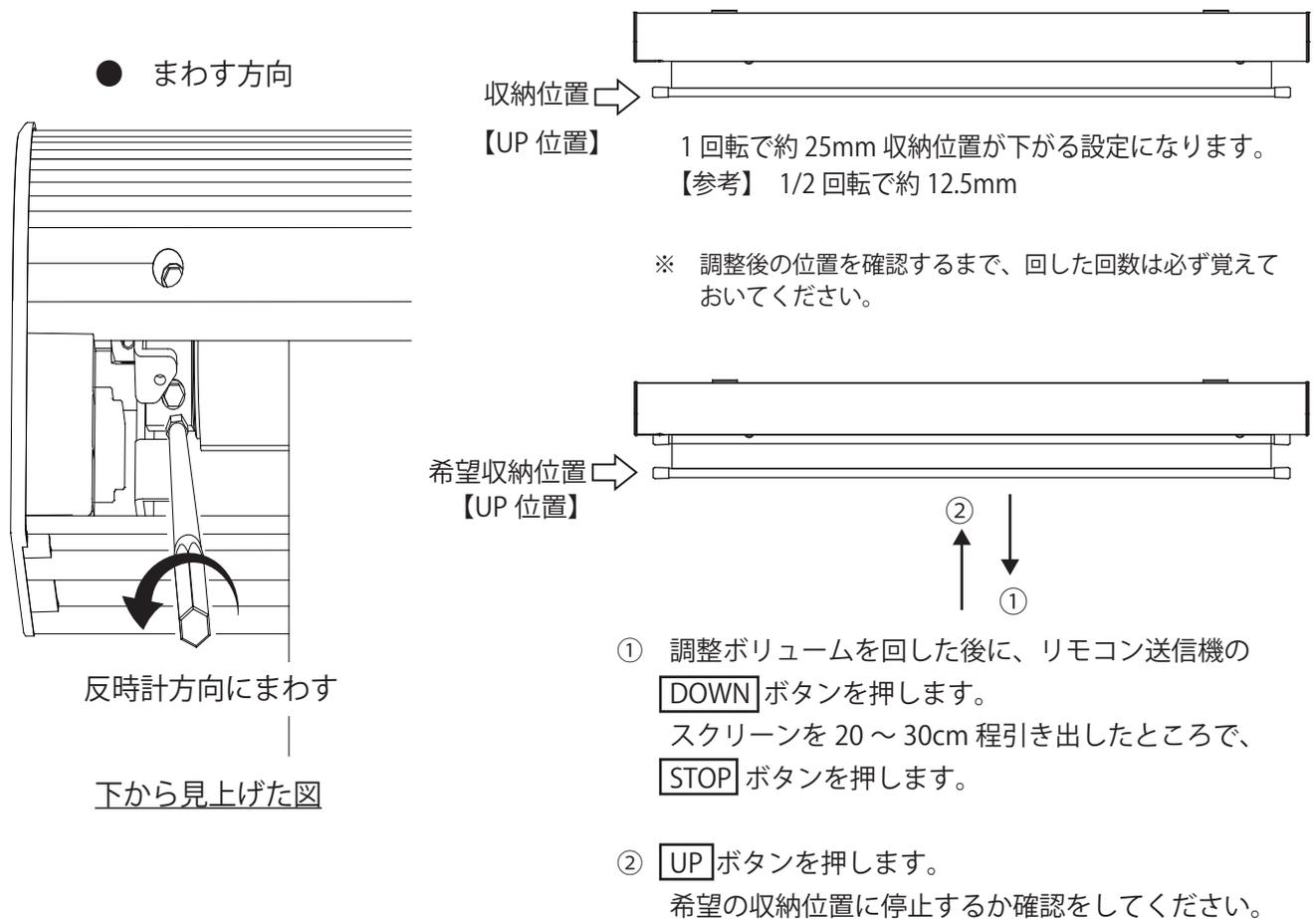
■ 収納位置が下がりすぎた場合

収納位置を下げすぎた場合は、下記の手順にそって、正しく調整をしてください。

1. スクリーンが引き出されている状態で、25 ページと同じ調整箇所へ付属の六角レンチを差し込みます。
2. 調整ボリューム（上限位置）を **反時計回り** に回してください。
上げすぎないように少しずつ調整してください。



調整ボリューム（上限位置）を**反時計回りに回しすぎないようにご注意ください**。
調整ボリュームを回しすぎるとスクリーンがケースに食い込んだり、スクリーン生地が引っ張られて、故障やシワの原因となります。



調整ボリューム（上限位置）を反時計回りに回しすぎた場合は、収納が終わっても下パイプがケースに当たりモーターが止まりません。
この場合は速やかに **STOP** ボタンを押して動作を止めてください。
動作を止めた後に調整ボリューム（上限位置）を時計回りに回してください。
(25 ページをご参照ください。)

FAQ（よくある質問）

異常が生じたときは修理を依頼する前に次の点検をしてください。点検前に必ず電源プラグを抜いてください。下記の項目に従って、点検されてもなお異常がある場合は、取扱店またはテクニカルサポートまでお問い合わせください。

症 状	処 置
スクリーン映写面が斜めになる	<ul style="list-style-type: none"> ● スクリーンは水平に取り付けられていますか？ ⇒ もう一度取付穴位置を確認してください。
スクリーン動作中に異音がする	<ul style="list-style-type: none"> ● スクリーンはブラケットに正しく取り付けられていますか？ ⇒ 取付位置は適切か、フックは正しく掛かっているか、カムレバーはロックされているかを確認してください。
スクリーンが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？ ⇒ AC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコン送信機は赤外線受光部に向けて操作していますか？ ⇒ リモコン送信機を本体の赤外線受光部に向けて操作してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコン送信機と赤外線受光部の間に障害物はありませんか？ ⇒ 障害物を取り除く、または赤外線受光部の取り付け位置を変えてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 日光やインバーターの照明の光を赤外線受光部が受けていませんか？ ⇒ 赤外線受光部の位置を変えてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコン送信機の乾電池が消耗していませんか？ ⇒ 乾電池を2本とも新しい物に交換してください。(単4形)
	<ul style="list-style-type: none"> ● モーター加熱防止装置が働いて停止していませんか？ ⇒ モーター冷却のため、しばらく放置してから操作してください。(10～20分)
スクリーンの収納が終わってもモーターが止まらない	<ul style="list-style-type: none"> ● 調整ボリューム（上限）を反時計周りに回しすぎていませんか？ ⇒ 速やかにSTOPボタンを押して動作を停止させてください。 【設置・取扱説明書】19～20ページの内容をご確認の上、もう一度調整をしてください。

製品保証内容は以下 URL より WEB サイトにてご確認ください。

<https://www.os-prod.com/products/warranty/>

製造販売元 **株式会社 オーエスエム**

連絡先：株式会社オーエス テクニカルサポートセンター
〒557-0063 大阪市西成区南津守 6-5-53

TEL：0120-465-040 FAX：0120-380-496

(受付時間：平日 9：00～17：50 ※土日祝祭日を除く)

E-mail：info@os-worldwide.com